

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あっとほーむ見附			
○保護者評価実施期間	7年 1月 29日		～ 7年 2月 10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	7年 1月 29日		～ 7年 2月 5日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士による専門的な訓練を実施していること。	お子さん一人一人に応じた訓練を個別、または小集団で集中してできるように、環境をできる範囲で整えています。 お子さんの興味、関心を引き付けるアイテムとして好きなおもちゃやお店での店員さんとのやり取り等を、施設内の日常的な活動に入れていきます。それを踏まえ、実際に買い物をする、選ぶ、お金の支払いなど体験を通して学べるように、長期休み中心になりますが計画を立てています。 地域のイベントに参加することもあり、交流を図っています。	言語聴覚士のみならず、保育士、教員免許等持つ職員が知識、経験を活かし専門的支援を受けられる体制を整えています。要望のあるSST活動なども計画に盛り込み、子どもにもやりたい活動を聞き、取り入れながら、まず買い物をし買った食材で調理をするなど、活動の幅を広げていき、子どもたちが考えて行動できる力をつけていきたいと考えています。次年度に保護者さんたち兄弟などの参加ができる企画を、まずは計画をし取り組もうと考えています
2	買い物や電車に乗る、公園で遊ぶ、また、地域のイベントに参加することなど、体験できることを企画していること。	お金の計算やお店での店員さんとのやり取り等を、施設内の日常的な活動に入れていきます。それを踏まえ、実際に買い物をする、選ぶ、お金の支払いなど体験を通して学べるように、長期休み中心になりますが計画を立てています。 地域のイベントに参加することもあり、交流を図っています。	子どもにもやりたい活動を聞き、取り入れながら、まず買い物をし買った食材で調理をするなど、活動の幅を広げていき、子どもたちが考えて行動できる力をつけていきたいと考えています。次年度に保護者さんたち兄弟などの参加ができる企画を、まずは計画をし取り組もうと考えています
3	どんな障害をお持ちのお子さんでも受け入れる体制作りをしていること。	施設見学などをいつでも受け入れています。現在、様々な学校の方の在籍があります。また、学校の早帰り、個人的な早退後に受け入れるなど柔軟な体制作りをしています。	個々に応じた適切なサポート力をつけるために、定期的な会議を開き、子どもの支援の在り方、関わり方等検証をし、社内研修、社外研修などで学び知識も持ち合わせ、どんなお子さんにも対応できる力を身に付けていき、受け入れていける体制作りにも努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもにとって、最善な支援ではなかったこと。	いろいろな障害、学年などが違う方が混在する中で、一人一人に丁寧な対応ができるように心掛けていますが、個別での訓練の取り組み時など職員すぐに準備や対応できないこともありました。また、体調面、情緒面でトラブルがあった時などは、時間がかかってしまう事がありました。ま	支援の方法や他の方法など職員が話し合いの場を持ち、振り返り、検証していくことを継続的に取り組みます。情報をいろいろな所からも得ていくことが必要かと思ひますので、学校や他事業所とも共有していけることができるように努めます。どの場面においてもていねいに対応すること
2	地域の子どもや、児童クラブなど、交流が少ないこと。保護者さん方の交流の場が少ないこと。	コロナ禍が明け、ようやく日常を取り戻してきたため、交流の場をどこでどのようになどを検討、模索している段階です。	具体的にいつどこでどのような方々と交流していくか。コンタクトをとるところから始めていきます。次年度に計画を立てていきたいと考えています。
3	非難訓練の日を設定したが、避難場所まで徒歩での訓練を曜日によっては行えなかった。（雨天など）雨天時は紙芝居などへ振り替えている。災害時などのマニュアルも職員が知識として持っているが、万が一のため、災害時に近い訓練が必要であること。	非難訓練日に雨降りになることもあり、訓練が紙芝居やクイズに変更になったことがあります。また、お子さんの体調面などを考慮して施設に残る場合もありました。	水害、家事、地震などいろいろな場合を想定して、災害時に近い状況での訓練の実施ができるように予備日なども作り備えていきます。万が一の時の備蓄品なども備えます。